

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人山口市文化振興財団		
施 設 名	山口情報芸術センター[YCAM (ワイカム) ]		
助成対象活動名	公演事業		
内定額 (総額)	14,810		(千円)
公 演 事 業	14,810		(千円)
人材養成事業	0		(千円)
普及啓発事業	0		(千円)

(2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	sound tectonics #21 NON-OPTIMIZED SOUND	平成30年7月21日(土) 16:00開演	最先端のサウンド・アート、音楽表現を紹介するライブコンサートシリーズ「sound tectonics (サウンド・テクトニクス)」第21弾。個性に満ち溢れた3組のミュージシャン(悪魔の沼、パードン木村、goat)によるライブ・コンサートを、YCAMが誇る音響環境で実施した。	目標値	300
		山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA		実績値	184
2	sound tectonics #22 LABEL CAMP	平成30年10月6日(土) 17:00開演	音楽における実験場としての「レーベル」を特集したライブコンサートを開催した。活動20周年迎えるBLACK SMOKERS RECORDSと菊池成孔率いるTABOO LABEL、縦横無尽な動きを魅せる2つの音楽レーベルからそれぞれ2組のアーティストが出演した。	目標値	300
		山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA		実績値	181
3	グループ・チ・フォー 「イノア」	平成30年 9月1日(土) 19:00開演、9月2日 (日) 15:00開演	ブラジルを拠点に活動するカンパニーの公演。日本でも人気の高いストリート・ダンスとコンテンポラリーダンスを融合させ、都市の日常を描いた見ごたえある作品。ダンサーの多様で素早い動きが繊細に組み合わせられ、相手の身体にぶつかるかぶつからないかというギリギリの距離の動作から、出会いやすれ違い、対立、攻撃、連帯、不安といったスリリングな物語を感じさせた。	目標値	140
		山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA		実績値	351
4	Israel&イスラエル	平成31年2月2日(土) 19:00開演、2月3日 (日) 15:00開演	フラメンコの改革者として高い評価を得るフラメンコダンサー、イスラエル・ガルバンとYCAMのフラメンコとAI(人工知能)のダンスセッションをテーマにしたオリジナル共同制作作品。質の高いダンスパフォーマンスに技術が融合し、今後のAIと人間の創造について問いかける世界的に見ても類を見ない作品が上演された。	目標値	270
		山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA		実績値	475
5	忘れる日本人	平成31年2月16日(土) 19:00開演、17日(日) 15:00開演	三浦基が率いる劇団・地点による舞台作品『忘れる日本人』。戯曲は民俗学者・宮本常一の著書『忘れられた日本人』と、モーリス・ブランショの小説『期待 忘却』をモチーフにしており、松原俊太郎によって執筆された作品に、劇作家・演出家の三浦基が演出を手掛けた。	目標値	300
		山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA		実績値	260
平成30年度の目標値、実績値				目標値	1,310
				実績値	1,451

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

YCAMの特性を活かした前衛的なアーティストによるクオリティの高い公演を市民が体験する機会を創出した。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

音楽産業の新しいムーブメントについてのトークセッションを開催することで、今後の観光事業や地域の文化的鑑賞教育の一環として意義ある事業となった。

#### 公演事業3. イノア

学習指導要領の変更により学校教育にダンスが取り入れられている状況にも沿った公演を実施することができた。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

公演初日は世界初公演ということもあり、他県からの来訪者が44%と非常に多く、県内有数の観光地である湯田温泉に近接する施設として交流人口の増加につなげることができた。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

都市部に比べ圧倒的に舞台作品鑑賞機会が少ない中、評価の高い作品鑑賞機会を市民に提供し、日曜日中の公演では学生42%と幅広い客層を取り込むことができた。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

音楽公演の場所が減少しつつある中、鑑賞機会の少ない地方において、世界的にも評価の高いアーティストを招聘できたことは非常に有意義な機会となった。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

地方発の音楽レーベルも様々に現れている中で、そのエコシステムについてのディスカッション・公演が実施できたことは、文化の継続においても大きな意味を持つ内容となった。

#### 公演事業3. イノア

地方都市である当地においても、ストリート・ダンスは若者に人気がある状況下での公演であった。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

AIを芸術表現として扱った文化的貢献のみならず、大きな経済的可能性を秘めたAIと人間の今後の関係を描くことに貢献した。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

独自の手法で新しい演劇の在り方を追求してきた劇団を招聘し、芸術表現の奥行きを体感すると同時に、他の舞台作品へ関心を広げる機会となった。

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

要望書で掲げた下記目標値の内、「収益率」は目標達成できなかったものの、「入場者・参加者数」及び「入場者・参加者率」は目標達成できた。また、要望時に掲げた指標「満足度」「新規来場者数」「情報発信」は全て目標を達成した。こうした結果が活動が有益であった事を示しているといえる。

#### 【目標値】

目標：入場者・参加者数1,310人、入場者・参加者率64.0%、収益率20.4%

結果：入場者・参加者数1,451人、入場者・参加者率87.0%、収益率 7.0%

#### ① 目標

1 地域住民が質の高い芸術文化活動に触れることにより、豊かな感性や創造性を育んだ。

2 山口情報芸術センター〔YCAM〕で過去に上演したアーティストの公演を行い、身近な劇場音楽堂として、地域住民の来館につなげることができた。

過去の実施作品や、アーティストに関連させて作品を招聘することで、既存の来場者に安心感と連続性を与え、先進的な表現の作品に足を運んでもらいやすくすることを意図した。

#### ② 指標

1 公演及び各種事業の内容に対する満足度

目標：参加者にアンケートを実施し、事業内容への満足度を把握する

目標値：満足していると回答した参加者の割合70%以上

達成状況：目標達成（82%）

2 事業実施による当館への新規来場者数

目標：来場者アンケートにより新規で来場した人数を把握する

目標値：（認知度アップを図る）入場者・参加者の10%以上

達成状況：目標達成（26%）

3 情報発信度による効果（新規設定）

目標：新聞や放送に事業や地域文化施設が取り上げられた量や頻度

目標値：新聞や雑誌等に取り上げられた記事の件数等が1つの事業あたり5件

達成状況：目標達成（28.5件）

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

**全般：**大きな変更なく計画どおり実施し、投入した事業期間・事業費に見合ったアウトプットを得た。助成事業支出額は申請時32,227,000円に対し決算額34,035,625円で差異は1,808,625円であった。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

適切な期間・予算で計画どおり高いレベルの公演が実現できた。これは、ハイクオリティな音響空間を提供するYCAMが、当該イベントにおいて実験的な音楽イベントを継続的に開催することで、ミュージシャンとのネットワークが構築できている事が寄与している。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

出演者の滞在期間を延長することなく、公演事業に加えトークディスカッションやパネル展示等も実施し、来場者にイベントの意義のより深い理解を促すことができた。

#### 公演事業3. イノア

市民にもダンスを見るだけではなく自ら参加してほしいという目的で、ダンサーとのダンス・バトルを関連企画として行った。ダンサーの滞在期間延長することなく、こうした関連企画を実施することができ、予算執行の効率性に努めた。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

ヨーロッパで高い評価を得てきたアーティストと、ゼロから最新の技術を駆使して作品制作したことは他に例がなく、時間を要することであるが、十分その価値は表現されたと感じる。また、レクチャーを2段階用意するなど、フラメンコを見たことのない観客に対しても時間をかけ丁寧な紹介ができたことは、アンケートからも伺えるように満足度が高く、今後の企画にも活かしていきたい。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

関連企画として、演出家と原作の作家を招いてのポストトークを実施した。終演後に設定したことで、観客の作品理解を深めてることができたと同時に、出演者等の滞在期間を増やすことなく実施することができた。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

世界に誇れる音響空間とスタッフ、そして世界的に、特にヨーロッパでの評価が高いアーティスト達のライブ公演は、有意義な内容であった。実施後、国内外のアーティストからライブ公演の依頼が多数あり、文化拠点としてのブランディング力を高めることができた。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

同時期開催の「YCAMオープンラボ2018」において、国内外の研究開発組織（ラボ）運営者たちが集いディスカッションするイベントがあり、YCAMのラボは音楽事業にも携わるラボとして、レーベルの位置づけに関してディスカッションを行った。これは、市民がラボを有するYCAMの特性について理解を深め、さらに音楽レーベルが地方で活躍していくことの期待感を高める内容となった。

#### 公演事業3. イノア

ブラジルのダンス・カンパニー「グルーポ・ヂ・フォーア」は1996年の結成以来、ストリートダンスを解体・再構築しコンテンポラリーダンスとして生まれ変わらせてきた。当地においては9年ぶり2度目の招聘で、本作品はアジアで唯一の公演地として初演をすることができ、新規性・先導性等において、優れた公演となった。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

世界的にみても独自の研究開発組織を持ち、技術を開発しながら、先駆的な表現を創作できる施設は限られており、AI技術を活用したダンス公演の創作・世界初演を成功させたことは、現代の社会がもつ課題や疑問を浮き彫りにし、未来への視座を投げかける試みとして、意義深かったと考える。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

地方都市における舞台作品の鑑賞機会が減少する中、新しい芸術表現を紹介することができた。また、これまで舞台公演に足を運ぶことのなかった層も取り込めたことは大きい。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

同時開催の「メディアアートの輪廻転生」や「コロガル公園 commons」など、主な鑑賞者・利用者が異なる展示会がある中で、実験的なアーティスト達との音楽公演を実施することは、YGAMが持つ多面的な特徴の理解に繋がった。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

地域における音楽活動が拠点や機会の減少により縮小することが危惧されている中で、こうしたインディペンデントでも活動を進めるレーベルの存在を示すことは、地域の音楽活動を行う人達、またそれを応援したいと思う人達にとっても意義ある内容となるものであった。

#### 公演事業3. イノア

アンケートにおける満足度は「大変よかった」と「良かった」の合計が73.5%となっており、「人間とは思えない動き。ストリートダンスとコンテの絶妙な混ざり具合の新しい世界を見せていただきました。」といった感想があった。劇評においてはダンサーの身体能力を賛辞するものがあった。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

先鋭的であるにもかかわらず、ダンスそのものの質が高く、地域の観客から高い満足度を得たことで、市民と新しい表現を共有し、ともに新しいテーマを考える施設としての役割を果たすことができた。また創作や関連企画（直前レクチャー「もっと楽しいフラメンコ」）に積極的に地域の人材を活用することで、準備段階から、当館のミッションである「ともに作る」を体現することができた。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

地域で表現活動をしている人に積極的に声をかけたことにより、中学生から社会人まで表現活動を行っている多くの市民を観客に呼ぶことができた。そのことにより、地域の演劇活動を行う人達に刺激を与える意義あるものとなった。

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

#### 公演事業1. sound tectonics #21

本sound tectonicsシリーズは、優れた音響設備のハード面と専属ラボの実験及び研究機能といったソフト面を来場者に提供する機会となっており、公演毎にスタッフのスキル向上につなげることができている。

#### 公演事業2. sound tectonics #22

専属ラボの音楽事業における実験を担う役割も紹介でき、YCAMの改変可能性の高さや、実験的要素を示すことができた。

#### 公演事業3. イノア

アーティストと市民で構成された混在チームによるダンス・バトルを関連事業として行った。公演事業をより市民に近づけるという意味で、継続的な目標の一角を担うことができた。

#### 公演事業4. Israel&イスラエル

国際共同制作の作品創作及び世界初となる公演を実施し、技術、制作面などにおいて、組織として成長することができた。今後、そのノウハウを国内外でのプレゼンや人材育成事業等で共有する。2019年パリ巡回公演交渉中。

#### 公演事業5. 忘れる日本人

作品の魅力をどう伝えるか劇団の制作担当・演出家と共に話し合いながら準備したことで、芸術表現の創造過程を共有でき、今後につながった。

#### <取組全般>

- ・ YCAM開館15周年記念事業実施
- ・ 「山口情報芸術センター事業計画（5箇年計画）」策定作業実施
- ・ 長期的キャリア形成に資する就業規則・給与規程の整備
- ・ 大学訪問や募集チラシによる登録制アルバイトスタッフの募集強化、登録説明会実施
- ・ 平成30年度版YCAM BOOK制作（報道・視察者等への配布）
- ・ 国際基金アジアセンターとの共催事業実施（呼吸する地図たち）
- ・ 前年度職員研修先KAAT神奈川芸術劇場企画制作作品公演（不思議の国のアリス）  
※財団事務局事業としてYCAM内で実施
- ・ 博物館実習生5名・日本人インターン6名・外国人インターン3名受入
- ・ 視察・見学164件1,155人受入
- ・ YCAM20周年（2023年度）記念事業積立資金の創立・積立